

回答必須	項目	ご回答
*	メールアドレス	kazuhiko.d@gmail.com
*	氏名	出村和彦
	就労移行支援事業所名 (通所されている方のみ)	未来のかたち
	連絡の際にCcに追加する方のメールアドレス	contact@miraino-katachi.co.jp
*	障害の発症と手帳取得の経緯	障害の発症：現場でコミュニケーションがスムーズにいかず、原因を明らかにするために心療内科を受診したところ、障害が発覚しました。 手帳取得の経緯：就労移行支援事業所へ通うために手帳を取得しました。
*	業務上の制限	特になし
*	業務上必要な配慮	特になし
*	勤務中の体調不良の対処方法	特になし
*	通院の頻度、所要時間、今後の見通し	通院なし
*	服薬の頻度、副作用、今後の見通し	服用中の薬なし
*	主治医から気を付けるように言われていること	特になし
*	入社後、障害特性が原因で起きうる最大の懸念と 自身・会社の対策	<p>最大の懸念：業務が滞った際に、上手くコミュニケーションが取れない（質問が上手くできない）</p> <p>自身の対策：疑問点を紙に書き出し、アウトプットを重視することで、質問がスムーズに行えるように努めています。 紙に書くことで整理され、相手に的確に伝えることができるよう心がけています。この方法を通じて、自分の意思をより明確に示すことができ、円滑なコミュニケーションに繋がると考えています。</p> <p>会社の対策：円滑なコミュニケーションができるようサポートしていただきたいです。 具体的には、障害特性を理解し、それに適したフォローアップやサポート体制を整備していただきたいです。 また、同僚や上司にも障害特性について理解を促進するためのトレーニングや情報提供を行い、全体的なコミュニケーションの質を向上させるようお願いしたいです。</p>

回答必須	項目	ご回答
*	なぜJPTに入社したいと思ったか	障害者に対してかなり配慮されているため、共感と協力のチーム環境で働くことができると考えており、Webアプリケーション開発に携わり、スキルアップができると考え、会社の技術的な挑戦に参加することで成長できると期待しています。
*	業務をする上でモチベーションを高めるもの・下げるもの	特になし
*	JPTで働く上で大事にしたいこと	・円滑なコミュニケーションが取れるか ・Webアプリケーション開発の実務経験を積んでいくことができるか
*	インターンでご自身が成長を実感した瞬間、エピソード	ページ「検査の記録」の開発過程で、プルダウン項目によって他の項目の内容が動的に変化する仕組みを追加したいと思いました。 しかし、当時事業所で学習したLaravel/PHPの知識ではその機能実装が難しく、事業所の講師に相談しても問題が解決しませんでした。 苦悩の中、別のアプローチを模索する中で、jQueryを使用すれば実現の可能性が見えてきました。 そこから、当時の自分のプロジェクトに適した形で機能を取り込み、理想的な機能実装が可能になりました。 この経験から、柔軟な発想と適切なツールの活用が問題解決につながることを学びました。
	その他、自由記入	特になし
*	履歴書（※PDF形式で要添付）	メールに要添付。
*	職務経歴書（※PDF形式で要添付）	メールに要添付。
*	障害者手帳の写し（障害名・等級がわかるもの） （※PDF形式で要添付）	メールに要添付。